

# 平成13年度 文学部 授業計画表 [syllabus]

## 地3選・社免歴免選

<b>科目名</b> <b>気候学</b> (英文名) Climatology	<b>4単位</b> (ふりがな) <b>の ぐち やす お</b> <b>担当者 野 口 泰 生</b>
<b>授業のねらいと概要:</b> 我々の日常生活と密接な関わりを持つ気象・気候現象を取り上げ、その仕組みについて理解する。様々な空間的・時間的スケールの題材を用いて解説する。卒論のテーマとなりうるような問題をその都度指摘する。毎回、衛星画像と地上・高層天気図を用いて気象状況を解説する。下の表に各講義予定日に触れる教科書の章を示すので、事前に必ず読んでから出席すること。	
<b>教科書と参考図書:</b> 教科書: お天気の科学(森北出版)[=科学]、プリント: ほとんど毎授業で配布する[=P] 参考書: 新しい気象学入門(講談社ブルーバックス)[=気象]	
<b>評価法:</b> 前期・後期の期末試験(80%)及び課題(随時、20%)による。前期・後期共、7割以上の出席がなければ、受験資格は無い。 再試は行わない。	

### 【授業計画】

回数	授業内容とそれに必要な準備	回数	授業内容とそれに必要な準備
第1回	ガイダンス、気候学と気象学、地理学の中の気候学、簡単な発達史 [科学1章]	第15回	多彩な気候環境: ハワイ島の気候区分 [科学2、11章、気象6章、P]
第2回	日本の四季(春)(1) 二十四節季と自然季節、東シナ海低気圧と春の雪、融雪 [科学3、4章、P]	第16回	日本の気候区分 [P]
第3回	日本の四季(春)(2) 春一番と春の大風、移動性高気圧、大気の安定・不安定 [科学10章、気象3章、P]	第17回	日本の気候(1): 東北地方 [P]
第4回	日本の四季(夏)(1) 梅雨と梅雨前線 [科学6、7章、P]	第18回	日本の気候(2): 関東甲信越 [P]
第5回	日本の四季(夏)(2) 集中豪雨、ヤマセと飢饉 [科学6、7章、P]	第19回	気圧と風、海陸風 [P]
第6回	日本の四季(夏)(3) 南高北低型、夏日・真夏日・熱帯夜 [科学2章、P]	第20回	高層天気図と地上天気図 [科学10章、気象2章、P]
第7回	日本の四季(秋)(1) 台風 [科学3、11章、気象6章、P]	第21回	偏西風と日本の気象 [科学2章、P]
第8回	日本の四季(秋)(2) 秋雨前線、霜 [科学11章、P]	第22回	大気大循環 [P]
第9回	日本の四季(冬) 西高東低型、寒波と日本海、冬日・真冬日 [科学5、10章、P]	第23回	エルニーニョと南方振動指数 [P]
第10回	気象観測資料 気象庁の役割と気象官署、アメダス、大気汚染観測網、 気象衛星、気象庁関係資料 [P]	第24回	気候変化(1): 地質時代から歴史時代 [P]
第11回	気候の表現と区分(1) 気候指數の歴史 [P]	第25回	気候変化(2): 観測時代 [P]
第12回	気候の表現と区分(2) ケッペンとソーンスウェイト [P]	第26回	気候変化(3): 戦後の気候変動 [P]
第13回	夏休み明けの初日(前期試験の答案返却と解説) [P]	第27回	Inadvertent Climatic Modification (1) Heat Island Effect [P]
第14回	極値と平年値、気象災害 [科学6、9章、気象6章、P]	第28回	Inadvertent Climatic Modification (2) [P]